

国際臨床病理センターのEBLMプロジェクト概要

国際臨床病理センター
所長 河合 忠

【発足の趣旨と研究目的】

現在、保険診療報酬点数表に記載されている臨床検査項目だけでも1000種類以上に及び、さらに臨床研究用としては数百種類の検査が使われている。これらの多種多様な臨床検査を最も効率的に診療に利用することは、患者に対する必要以上の苦痛と経済的負担を避け、しかも限られた医療資源を最大限に生かすために極めて重要である。こうした社会的要望に対応し、近年注目されている「根拠に基づく医療」(Evidence-Based Medicine)の一環として、「根拠に基づく診断」(Evidence-Based Diagnosis)が必要不可欠となっている。診断情報の中でも臨床検査は最も客観性が高いことから、根拠として極めて重要である。しかるに、臨床検査の効率的利用に関する研究は未だ十分に行われていない。

国際臨床病理センターでは、「根拠に基づく臨床検査医学」(Evidence-Based Laboratory Medicine)が21世紀に向けた臨床検査医学の最重要課題の一つと考え、2000年4月に「EBLMプロジェクト」を発足し、その実行のための「臨床検査医学における系統的再評価委員会」(Committee on Systematic Reviewing in Laboratory Medicine) [ICPC/ C-SRLM]を設置した。本ICPC/C-SRLMは以下の事項の達成を目的とする：

1. 従来使用されている臨床検査の有用性を再検討するために系統的再評価(Systematic Reviewing, SR)を実施する、
2. その結果を日常診療に反映させる、
3. 未解決の課題を発掘する、
4. それらの新しい課題を解決する。

本プロジェクトは一人の研究者では遂行不可能であって、多くの臨床検査専門医が各専門領域の臨床医との共同作業で、しかも統一された適切な手順を進め、研究者間で研究作業の重複を極力避ける必要がある。このような作業は、IT技術の最近の急速な進歩に基づくインターネット網を最大限に活用することが必須である。しかし、わが国には未だそうした研究プロジェクトが発足していない。本プロジェクトは世界的にその必要性が認識されているにも拘わらず、未だ強力な実行組織が設立されていない。国際臨床病理センターは、わが国の同研究を調和の取れた形で推進し、その結果を世界に発信するために、日本臨床病理学会等の専門団体と協力して本プロジェクトを推進しようとするものである。

【研究方法】

SRLM委員会を組織して、計画／実行する(別紙1)。

1. 研究課題は指定課題と公募課題とする。
2. 採択研究課題に対して、必要に応じて研究補助金を交付する。

3. 研究を推進するために必要な研修会、研究成果発表会、等の会議を開催する。
4. 研究成果を日常診療に反映するための方策を検討し、それを公開する。
5. 委員会活動並びにその成果を公開するためにインターネットホームページを開設する。
6. 委員会活動は、国内外の関連団体との連携を図り、グローバルネットワークを構築する。

別紙 1

ICPC/C-SRLM 各チームの構成と役割

1. 方法論チーム(Methodology Team)

(ア)構成メンバー：日本臨床病理学会・臨床検査情報学専門部会・EBLM ワーキンググループが主役を演ずる

(イ)役割：

- a 本プロジェクトが採用する系統的再評価（メタアナリシス）のための標準的方法マニュアルを作成する
- b 診断検査の臨床的評価のための研究論文が具備すべき必要条件を作成する

2. 選考チーム(Selection Team)

(ア)構成メンバー：日本臨床病理学会・日常初期診療のための臨床検査の使い方小委員会が主役を演ずる

(イ)役割：

- a 公募課題を審査し、指定課題とともに本プロジェクトとして採用する課題を選考する
- b SRLM領域でのデータベースを作成する

3. 統計チーム(Statistics Team)

(ア)構成メンバー：

(イ)役割：

- a 本プロジェクトに最適な統計学的方法について検討し、提案する

4. 統轄チーム(Management Team)

(ア)構成メンバー：河合 忠（委員長）、菅野剛史（副委員長）、神辺真之（方法論チーム）、渡邊清明（選考チーム）、福井次矢（統計チーム）、河野均也（ICPC 非常勤研究員）、中原一彦（ICPC 非常勤研究員）、櫻林郁之介（ICPC 非常勤研究員）

(イ)役割：

- a 本プロジェクトの運営について協議する
- b 国内外の関連団体と連絡、調整にあたる、とくに The Cochrane Collaboration, IFCC/C-SRLM と協力する方策を推進する

【2000.6.27作成】

ICPC/C-SRLMの組織図

